

ユッケツ
粵劇 (広東オペラ)
日本同好会
《第10回粵劇推進活動》



粵劇 (広東オペラ) ふれあいフェア 2017

【中文：日本粵劇同樂日】

当会のFB



- 日時 : 2017年(平成29年)9月9日(土)
時間 : 午後2:00 ~ 午後4:30
入場 : 無料 (スリッパ又は上履きをご持参下さい。)
場所 : 浦和コミュニティセンターの「レクリエーションルーム1」
浦和駅東口『コムナーレ』(浦和パルコ)10階
住所 : 埼玉県さいたま市浦和区東高砂町11番1号
交通 : JR京浜東北線、高崎線、宇都宮線、湘南新宿ラインの浦和駅の東口
下車徒歩1分
主催 : 粵劇(広東オペラ)日本同好会
演目 : 「帝女花」の「香天」
内容 : 粵劇(ユッケツ)の伝統的衣装の試着体験や化粧体験、粵劇の簡単な動きの体験、最後に「帝女花(ダイ・ノイ・ファー)」の「香天(ヒョン・イウ)」を歌うイベント。
目的 : 中国広東語文化から誕生した伝統芸能である粵劇と触れ合う事によって、同じく中国を起源とする日本の伝統芸能である能、狂言、歌舞伎などと共通の魅力を感じ取って頂き、粵劇に対する知識や理解を深め、興味を持って頂ければと考えております。
協力 : 香港の剣心粵劇團

◆ 粵劇と日本文化との共通点とは ◆

「粵劇」はユネスコ無形文化遺産で広東省や香港やマカオ等で育った古典劇で伝統芸術の一つです。「粵」の漢字は日本にはなく、「エツ」、即ち「粵」の「米」の上に「ノ」が付いており、中国南部の広東省の別名です。粵劇(広東語: ユッケツ)とは、明朝末期に中国広東語文化から誕生した伝統的な芸術文化です。一方、能の起源は、千数百年以上前に、中国から伝わった、滑稽な物まね、曲芸、呪術など雑芸的芸能である「散楽」が発展して「猿楽」となり、能・狂言の元になった等共通するところがあります。



粵劇(広東オペラ)日本同好会代表

たねもりふみえ

胤森文恵(フィオニー)です。私の抱負

は世界文化遺産「粵劇」を守り、日本に広めたい事です。その為、沢山の在日華人及び日本人が本会に加入し、粵劇の推進活動を通して、粵劇に対する認識や興味を高めて頂きたいと思っています。私は埼玉県さいたま市岸町公民館で広東語の会話レッスンを兼ねて粵曲を教え、一緒に出演するメンバーを募集すると共に、粵劇の推進活動にお力を貸して頂ける方も募集しております。ご興味のある方は、是非ご連絡を下さい。どうぞ宜しくお願い致します。